

日本肝炎デー啓発の取組について

1 要旨・目的

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を『世界肝炎デー』と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱している。

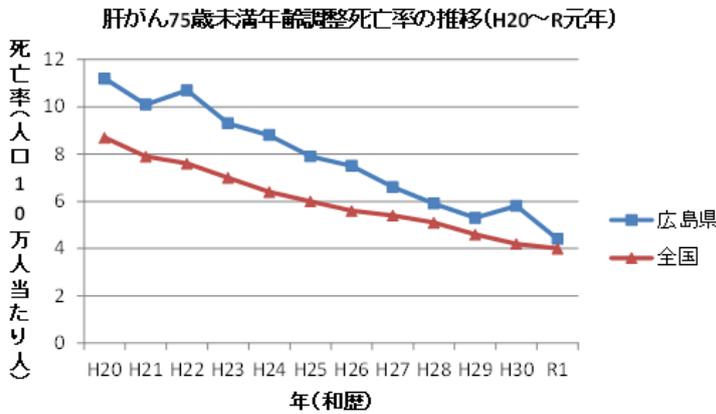
ウイルス性肝炎は、治療をせずに放置すると肝硬変や肝臓がんに行進することもある感染症で、日本には約300万人の感染者が存在し、「国内最大級の感染症」と言われている。

わが国でも7月28日の世界肝炎デーを「日本肝炎デー」と定め、肝炎に関する正しい知識の普及啓発を図り、本県においても啓発を実施する。

2 現状・背景

広島県では、B型肝炎ウイルスキャリアが推定約4万5千人、C型肝炎ウイルスキャリアが推定約3万5千人と言われている。

グラフのとおり、広島県の肝がん75歳未満年齢調整死亡率は年々減少しているが、未だに全国よりも高い状況である。



参考：令和元年肝がんの75歳未満年齢調整死亡率
広島県 4.4 全国 4.0

出典：国立がん研究センター
がん対策情報センター
がん統計都道府県比較

肝がんの大半はB型及びC型肝炎ウイルスの持続感染が原因であることが分かっている一方で、自覚症状があまりないため、感染していることに気付きにくく、継続的な通院もやめてしまうことがある。

肝がんになることや病状が悪化することを防ぐためには、B型・C型肝炎ウイルスに感染していることを早期に発見し、早期に治療を行うことが大切である。

3 概要

(1) 実施主体

- 啓発動画放映：広島県
- ポスター掲示：特任肝疾患コーディネーター連絡協議会， 広島県

(2) 実施期間

令和3年7月から8月上旬

(3) 場所

啓発動画放映：マツダスタジアム，広島銀行，広島産業会館，ふくやま産業交流会館
ポスター掲示：ひろしま肝疾患コーディネーターが在籍する医療機関

(4) 実施内容

啓発動画放映：マツダスタジアム，広島銀行，広島産業会館及びふくやま産業交流会館
で肝炎ウイルス検査受検促進に係る啓発動画を放映する。

厚生労働省ホームページ「健康家族 知って，肝炎15秒バージョン」
(参考資料①)

ポスター掲示：特任肝疾患コーディネーター連絡協議会と広島県が協同でポスターを
作成した。(参考資料②)

ひろしま肝疾患コーディネーターが在籍する各医療機関などにおいて，
肝炎ウイルス検査受検を促進する取組を実施する。

4 その他

昨年度に引き続き，街頭での啓発イベントは，新型コロナウイルス感染症拡大防止の
ため，実施しない。

また，職域における肝炎ウイルス検査の受検を促進するため，県内を所在地とする組
合管掌健康保険組合17組合及び全国健康保険協会広島支部に対してポスター等を送付し，
加入企業に受検勧奨を行うよう呼びかけを行う。

参考資料①：厚生労働省ホームページ「健康家族 知って，肝炎 15秒バージョン」

https://www.kanen.org/download/movie/#nav_subcategory

参考資料②：広島県ホームページ「7月28日は「日本肝炎デー」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kanenshinsei/hepaday.html>

世界肝炎デー啓発ポスター

